



1月の家だより

平成30年1月4日
神戸市小規模保育事業
パンダこうとく保育園



新年あけましておめでとうございます。

お正月は子どもたちも、お家のみなさんとゆったりと、楽しく過ごしたことと思います。

今年は戌年です。戌年にちなんで、淡河町にもどンドン子どもが増えることを願いたいものです。

さて、1月は、吹く風もますます冷たくなりますが、室内でもできるお正月遊びを0歳児から3歳児の子どもたちが興味をもって遊べるよう工夫しながら、一緒に楽しんでいきたいと思います。

また、インフルエンザが流行る季節です。子どもたちの体調管理をしっかり行い、元気に過ごしましょう。

《保育のねらい》

◎お正月遊び(凧揚げ、絵合わせ、コマ回しなど)を保育士と一緒に楽しむ。

<ひよこ組>

- ・暖かい日は戸外に出て、体を動かして遊ぶ。

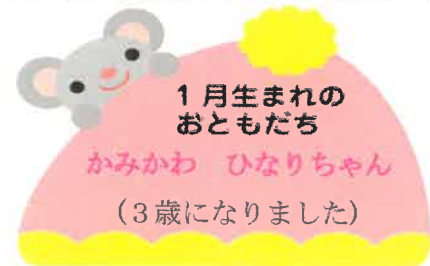
<りす組>

- ・冬の自然に興味をもち、戸外に出て元気に遊ぶ。



《今月の行事予定》

日	曜日	行 事
16	火	児童館に遊びに行く
17	水	シェイクアウト訓練 発育測定
26	金	お誕生会



1月生まれのおともだち

かみかわ ひなりちゃん

(3歳になりました)

我が子がとってもかわいく見えるとき (お迎えのひとときから)

子どもたちは、お家の方がお迎えに来られると、全身に喜びがあふれ、「うれしい!」という思いを表情や動きで表してくれます。そばで見ている私たちも、ほっこりとする瞬間です。

そんなお帰りの時間でのエピソードをご紹介します。

Mちゃんが粘土遊びをしていると、お母さんがお迎えに来られました。Mちゃんは「アンパンマン作って」とお母さんに頼みました。お母さんは「えー! 難しいなあー!」と言いながらも、Mちゃんと一緒に粘土をこねて、「こうかな? Mちゃん教えて…」と聞きながら作り終えて、親子で楽しそうに帰っていかれました。

何でも自分でしたいRちゃんが「自分で靴下はきたい。靴はきたい」と言い出しました。お祖母さんは、少しでも早く帰って家のことをしたい時間だったと思うのですが、気長に待ってくださったので、Rちゃんは満足して帰っていきました。

Sちゃんのお父さんは、連絡帳を見て「今日は給食を全部食べたんやなあ。えらかったなあー。」とほめてくださっていました。それを聞いたSちゃんは、何とも言えないうれしそうな笑顔でした。

このように、お家の皆様は、仕事のお疲れがあるのにもかかわらず、子どもの思いや気持ちに寄り添い、受け入れて子育てをされている姿に、私たちはいつも感心しています。子どもたちの笑顔は、こんなお家の方々に囲まれているから生まれるのだと思います。

今年度もあと3ヶ月ですが、子どもたちの笑顔と保護者の皆様の笑顔と職員の笑顔があふれるよう、共に頑張っていきましょう。

